

2024 年度 NPO 自然観察指導員京都連絡会(noi-Kyoto)第 22 回総会議事録

第Ⅰ 日時 2024 年 3 月 3 日（日）13：30～16：30

第Ⅱ 場所 京都教育文化センター 号室（川端丸太町東入る上がる京大病院前）

第Ⅲ 現在の役員等

代表理事 清水 正 副代表理事 白石恵美子

理事 出口由美子 久間孝子 眞田幹雄 福井千津 平尾繁和 宮城光夫

伴 浩治 齋藤紀子 上月 章

監事 中西富二子、臼井知子

顧問 吉田 真、西川忠樹 坂東忠司

運営委員 梅田 眞 海老原緑 榎三津子 古結博邦 中西富二子 細川幾由

中川大一 羽田 寿 増田雅信 小牧直人 正木文枝 稲田真弓 臼井知子

第Ⅳ 内容

第一部 記念講演 13：30～15：00

演 題 「京都府の地質と植物分布の関連を探る」

講 師 光田重幸氏（きょうと生物多様性センターアドバイザー）

第二部 第22回総会 15：15～16：30

開会宣言（司会 福井千津）

議長選出（ 同上 ）

議事進行（議長 伴 浩治）

議長確認2024年3月3日現在 会員数 名 定足数

出席 名 委任状 名 合計 名 で定足を満たし総会は成立

議事録署名人選任（伴 浩治、眞田幹雄、上月 章）

開会挨拶（清水 正）

議案提案

第1号議案 2022年度活動報告（細川幾由、梅田 眞、上月 章、齋藤紀子）

第2号議案 2022年度決算報告（久間孝子）

2022年度会計決算監査報告（中西富二子、臼井知子）

第3号議案 2023年度活動計画案（古結博邦）

第4号議案 2023年度予算案（久間孝子）

第5号議案 理事・監事・運営委員の人事案（清水 正）

議長解任挨拶（伴 浩治）

新役員紹介（清水 正）

閉会挨拶（白石恵美子）

【第22回総会議案】

■第1号議案 2023年度活動報告

1. 対外活動

(1) 友の会、京都府委託公開自然観察会、講師派遣等

①友の会

コロナが5類に指定され特別の手だてがなされなくなったことから、感染に気を付けながら開催をして、7月を除いて毎月開催出来ました。7月には特別例会「セミの羽化」を無料で実施しました。更にオオハンゴンソウ駆除活動の一環として花脊の美しい自然に触れてもらうために、7月と10月に広河原早稲谷と大悲山口から花脊三本杉*への道の特別観察会を実施しました。以上あわせて参加者数は年間310名（うち子ども22名）、平均19.5名となりました。スタッフとしては193名、平均13.8名となりました。従ってスタッフを含む参加者は総数503名、一回平均36名となりました。

観察地の内訳（特別例会は除く）では、地域別では京都府8か所、滋賀県3か所、大阪府2か所。生態系別では山地5か所、池・湿地1か所、溪谷2か所、里地3か所、その他1か所です。

*日本1・2位の樹高を持つ杉

2023年友の会観察会集約一覧(2023.1～12)							
回	日時	友の会観察地	参加スタッフ	下見参加	一般参加	参加合計	テーマ・備考
212	1月22日	木幡池の冬鳥	18	12	41(内子ども1)	59	水鳥、とりどり、撮り放題
213	2月19日	瀬田公園	14	12	10	24	早春の草花を愛でる
214	3月26日	笠置	13	9	3	16	長閑な電車で揺られ、春の訪れを予感
215	4月16日	大原の里	15	16	18(内子ども1)	33	比叡山への信仰の道を歩く
216	5月14日	武庫川溪谷	14	6	9	23	緑の溪谷美を見ながら廃線トレイル
217	6月18日	枚方市 穂谷	12	9	28	40	棚田・ため池・雑木林がつくる里山景観
特別	7月16日	広河原早稲谷	21	14	41	62	オオハンゴンソウ駆除大作戦後に
特別	7月23日	京都御苑セミの羽化観察	10	7	30(内子ども10)	40	感動体験、セミの羽化
218	8月27日	鞍馬から貴船へ	9	8	21(内子ども3)	30	天狗のいる森をめざして
219	9月17日	河辺いきものの森	15	9	17(内子ども2)	32	愛知川の溪畔林に豊かな自然を求めて
220	10月23日	瓢箪崩山	14	15	13(内子ども2)	27	瓢箪崩山を望み長谷川沿いを歩く
特別	10月15日	花脊峰定寺から三本杉	16	9	22(内子ども2)	38	オオハンゴンソウ駆除ボランティア後に
221	11月19日	恭仁京	11	5	26	37	みかのはらわきて流るる泉川いづみきとてか恋しかるらん
222	12月10日	皇子が丘公園	11	8	31(内子ども1)	42	琵琶湖の見える丘を逍遙
	平均		13.8	10	19.5	36.0	
	年間集計		193	139	310(内子ども22)	503	

②京都府委託公開観察会・京都府自然観察指導員等研修会

・自然環境保全京都府ネットワーク・きょうと生物多様性センター

自然環境保全京都府ネットワーク(2018年結成)はコロナの感染の影響も有り軌道に乗りにくい状況が続く中、取り組みが進められました。それでも皮切りに光田重幸先生を招いて「鴨川源流域の自然」というテーマで講演会を実施しました。会場の府立植物園会議室には入りきれないほどの参加者がありました。当会からは11名の参加を数えました。3月26日(日)にON・LINEによる総会を実施しました。4月1日には自然環境保全京都府ネットワークとの関わりの強い中、京都府と京都市が提携して「きょうと生物多様性センター」が結成され、大きなうねりとして活動が進むこととなりました。

10月8・9日には「きょうといきもの☆フェス」は府立植物園で開催され、本会もブース展示や発表会、自然観察会などに活躍しました。イベントは多くの保全団体が一堂に集まり新たな活動の展開を感じさせてくれました。5回目の博物館視察は三重県総合博物館で実施。本会からは2名が参加しました。新しく創設されたきょうと生物多様性センターには三つの拠点があり交流センターにはオオハンゴンソウ防除の取組ポスター掲示や、本会の会誌「森の新聞」の創刊号から最新号までが見られるように配架されています

◆自然環境保全京都府ネットワーク・生物多様性センター				
月日	事業名	場所	参加	主催
1月29日(日)	自然環境保全ネットワーク講演会 鴨川源流域の自然講師光田先生	京都府立植物園	11	自然環境保全京都府ネットワーク
3月16日(木)	自然環境保全ネットワーク役員会	ON-LINE	2	自然環境保全京都府ネットワーク
3月26日(日)	自然環境保全ネットワーク総会	ON-LINE	1	自然環境保全京都府ネットワーク
4月25日(火)	自然環境保全ネットワーク役員会	府庁	2	自然環境保全京都府ネットワーク
8月2日(水)	自然環境保全ネットワーク役員会	ON-LINE	1	自然環境保全京都府ネットワーク
10月8日(日)	きょうといきもの☆フェス	京都府立植物園	4	きょうと生物多様性センター
10月9日(月)	きょうといきもの☆フェス	京都府立植物園	7	きょうと生物多様性センター
11月11日(土)	三重県総合博物館見学	三重県総合博物館	2	自然環境保全京都府ネットワーク

③他団体の行う自然観察会の企画・立案及び講師派遣

ア 田んぼの学校

コロナ禍により長らく休止していた宝酒造「田んぼの学校」が対面での取組を何とか継続したいという宝酒造の熱意を受けて、今までより小規模ながら形を変えて実施することとなりました。企画は従来通り田植え編・草取り編・収穫編の3回シリーズで行いました。自然観察の時間が少ないなどの課題はありますが、まずは順調に再スタートを切ることが出来ました。

イ その他

コロナの5類移行に伴って前から受けていた行政・団体からの講師派遣が戻ってきました。

あわせて新規の取り組みも広がり、かなりの自然観察会を実施することが出来ました。講師派遣での参加者はファミリー層や若い人、小学生なども多く、多様な観察会を考えるきっかけとなっています。

「西山ファミリー環境探検隊」、「鴨川探検！再発見！」「京都府教職員互助組合自然観察会」など昨年より継続。新たに「古都の自然観察会～京都にも自然がいっぱい～高齢者大学講座」が新規実施の運びとなり、募集人員がすぐ満杯になるなどの好評を得ています。京都産業大学からはOECMに関わる取組。京都大学などで取り組む「里山おーぷんらぼ」への参加、立命館小学校での「どんぐり学習」等へも講師を派遣しました。

◆講師派遣集約(22)						
月日	事業名	場所	会員参加	参加者	主催団体	下見
1月26日(木)	京都産業大学OECM関係 自然観察会打ち合わせ	京都産業大学	4	4	京都産業大学西田研究室	*
3月11日(土)	冬の西山ファミリー環境探検隊	西山公園周辺	6+5	17(内子ども9名)スタッフ8	西山森林整備推進協議会	有
3月23日(木)	都産大OECM関係自然観察会	京都産業大学キャンパス	4+2	産大教員4学生6(下見2+2)	京都産業大学西田研究室	有
4月18日(火)	古都の自然観察会 京都にも自然がいっぱい	宝ヶ池	7	38、スタッフ9	京都高齢者大学校	有
5月21日(日)	田んぼの学校田植え編	南丹市園部町仁江	11+9	15家族(60)	宝酒造	有
5月27日(土)	鴨川探検!大発見! 春の観察会	北山橋左岸南詰	4+5	12(内子ども6)スタッフ5	京都府河川課	有
6月4日(日)	西山ファミリー環境探検隊 春の自然観察	西代里山公園～西山キャンプ場	4+5	27、スタッフ10	西山森林推進整備協議会	有
6月8日(木)	鴨川探検!大発見! 夏・水辺編打ち合わせ	京都府土木事務所	2	河川課2	京都府河川課	有
6月20日(火)	古都の自然観察会 京都にも自然がいっぱい	嵯峨野観音寺谷	7	30+10	京都高齢者大学校	有
7月2日(日)	宝酒造田んぼの学校草取り編	南丹市園部町仁江	9+7	15家族(60)	宝酒造	有
7月23日(日)	鴨川探検!大発見! 夏・水辺編	北山橋左岸南詰	5+2	31(内子ども15)スタッフ10	京都府河川課	有
9月13日(水)	新しい里山・里海共創プロジェクト 打ち合わせ	京都大学上賀茂試験地	1	1	里山おーぶんらぼ@上賀茂	*
8月25日(金)	鴨川探検!再発見!(秋編) 打ち合わせ	京都府土木事務所	3	2	京都府河川課	*
9月24日(日)	宝酒造田んぼの学校 収穫編	南丹市園部町仁江	9+10	15家族(60)	宝酒造	有
10月13日(金)	里山おーぶんらぼ@上賀茂	京都大学上賀茂試験地	5	京都大教員・研究員・技術職員、学生・院生、市民団体	里山おーぶんらぼ@上賀茂	*
10月14日(土)	里山おーぶんらぼ@上賀茂	京都大学上賀茂試験地	2	京都大教員・研究員・技術職員、学生・院生、市民団体	里山おーぶんらぼ@上賀茂	*
10月22日(日)	鴨川探検!再発見! 秋編	北山橋左岸南詰	4+3	8(内子ども4)	京都府河川課	
11月15日(水)	京都府教職員互助組合 秋の自然観察会	京都大学上賀茂試験地	3+6	30	京都府教職員互助組合 退職互助部	有
11月21日(火)	古都の自然観察会 京都にも自然がいっぱい	御陵から山科疏水	7+10	30+10	京都高齢者大学校	有
11月24日(金)	立命館小学校1年生 どんぐり学習	立命館小学校	3	120+5(先生)	立命館小学校	*
11月30日(木)	宝酒造田んぼの学校次年度打ち合わせ	新都ホテル喫茶室	2	(環境計画・宝)3	宝酒造	*
			166	617+α		
※会員参加の+〇〇は下見人数						

ウ 花背モニタリング、中世木モニタリング ◆花脊モニタリング

【今までの経過】

- 花背別所にあるゲストハウス「Hanare」の前の畑(防鹿柵あり)周囲の法面、Hanare」入口付近から裏山にあたる尾根沿いと沢沿いを毎月調査していました。2019年、2020年で計12回実施(うちの2回は地域を少し広げ、花脊原地と八桝の山村都市交流の森)しました。2021年度は4回を別所の「Harare」付近で、残る4回を花脊原地と峰定寺付近にて実施しました。ほぼ年間を通しての調査で大半の種は確認しました。
- こうした状況から2022年度は花背三地域のうち、広河原を除いた範囲の植生を網羅した調査するという計画のもとに花脊別所ではスキー場跡、花背峠より大見尾根分岐を経て別所下る「Harare」の裏山の3箇所、花脊山村都市交流の森展望の森ルート、大悲山口から峰定寺、三本杉、鍋谷・井の口谷上部の伏条台杉に入りました。駆除活動の傍らですが原地古原氏宅の川沿いも調査しました。(調査した結果は随時「森の新聞」にも掲載中)

○2023 年度は花脊・広河原を中心に調査に入ってきました。花脊八柵ちしよろ谷に春秋 2 回、花脊原地古原宅溪流沿い 1 回、花脊大布施の旧道 1 回、峰定寺から三本杉に秋 2 回 広河原早稲谷に夏秋で 4 回実施しました。別所、花脊、広河原での植生の違いもはっきり してくるとともに希少種と呼ばれるものも多く確認出来ています。現在で 35 回の調査を 終えましたが、まだ調査をしたいところは多くあります。中間まとめを作ることも急がな ければなりません。

◆花脊モニタリング			
月 日	調査場所	調査参加者	回 数
4月4日(火)	花脊八柵口からちしよろ谷	14	第28回
5月11日(木)	花脊原地古原氏宅	17	第29回
6月6日(火)	広河原下之町早稲谷	13	第30回
7月4日(火)	早稲谷～小野村割岳登山口	15	第31回
7月16日(日)	早稲谷～小野村割岳登山口	69	オプション観察会
9月7日(火)	花脊大布施府道477号旧道	11	第32回
10月3日(火)	峰定寺～三本杉	5	第33回
10月15日(日)	峰定寺～三本杉	42	オプション観察会
11月7日(火)	花脊八柵ちしよろ谷	10	第34回
12月5日(火)	佐々里峠と早稲谷	8	第35回
	生物多様性センター中嶋先生 含む	204	

◆中世木モニタリング

○南丹市日吉町中世木中谷地区のモニタリングは今年度の 8 回を加えて 28 回を数えるに至りま した。午前は定点箇所でのモニタリング調査を行い、午後には中世木地区を離れて木住、牧山、 東牧山、日吉ダムの対岸などにも調査を広げています。何回も行っている笛吹神社では、斜面 を登るとユリワサビなどの新しい発見がありました。また葉の裏が赤いイチリンソウという見 たことがない珍しいものの発見もありました。牧山や東牧山でもベニバナヤマシャクヤク(今 春要確認)の群生、イナモリソウ、数種のラン等も確認など毎回非常に楽しみな調査となっ ています。残念ながらまだまとめが出来ていませんが、何としてもまとめを急ぎたいところだ と思います。

◆中世木モニタリング				
月 日	調査場所	調査参加者	回 数	
3月17日(金)	南丹市日吉町中世木	6	第21回	笛吹神社
4月6日(木)	南丹市日吉町中世木	10	第22回	
5月16日(火)	南丹市日吉町中世木	9	第23回	公民館裏山
6月23日(金)	南丹市日吉町中世木	7	第24回	牧山
7月21日(金)	南丹市日吉町中世木	7	第25回	東牧山
8月18日(金)	南丹市日吉町中世木	7	第26回	大塩谷作業道
9月15日(金)	南丹市日吉町中世木	11	第27回	午後田んぼの学校下見
10月20日(金)	南丹市日吉町中世木	5	第28回	コセリバオウレンの道
11月24日(木)	南丹市日吉町中世木	雨天中止	*	中止
集 計	主宰前田敦子さん含む	61	全8回	
	* 午後の時間に中世木の別の谷筋などを調査			

(2) ホームページ等 IT 関連の運営

① ホームページの運営

新ホームページに変わって4年近く経ちましたが、今年度は大きなチェンジが行われました。今までのPC仕様からスマートフォン仕様となり、立ち上がりのページがスマートフォンでも画面内におさまるようになりました。ホームのページがすっきりした画面となり、そこから下にローリングするだけで様々なコンテンツに移れるようになりました。また緊急連絡なども最初のページですぐにわかるようにも設定されており実用性が上がりました。それでいて巻頭写真も従来の美しさを保っています。今後も使い易いものとなるよう日々更新をしていきます。多くの会員が頻度高く閲覧いただくことで、改善するとともに検索が上位に来るようお力添えをお願いします。連絡事項には緊急のお知らせやいろいろな情報「一里一尺～自然をたずねて～」という連載読み物などを掲載しています。友の会の項目には観察会のチラシがアップされていますのでご活用下さい。会員のページは写真説明の左下にあります。(パスワード「kaiin」を打ち込んで入ってください。) そのページで参加したい行事があれば予定表から入り、該当の行事のところに名前を書き込んでください。「森の新聞」も会員のページからであればカラーで見ることが出来ます。皆さんの御利用をよろしくお願いします。

また、「森の新聞」が創刊号から最新号まで見る事が出来るようになりました。

② メーリングリスト

本会の公式連絡ツールの一つとしてメーリングリストが整備されました。加入は指導員（本会会員）なら誰でも入れます。以前と異なり PDF と写真が添付可能になりました。ワードやエクセル及び外部にリンクする url の埋め込みは不可ですのでご注意ください。全員への会行事などの発信にお使いください。

③ LINE について

「noi-kyoto グループ LINE」と「教えて G ライン」のグループラインは準公式的に使っています。加入者間を中心に簡単な連絡、紹介などに使っています。ルールは「noi-kyoto グループ LINE」の「ノート」に記載されていますので、それに従って下さい。観察会

などの活動中の連絡にも使用できます。「教えて G ライン」はグループラインより派生して作られたもので、植物、昆虫、鳥など自然に関わる疑問や質問等々のやり取りが自由に出来て、参加者のみなさんには重宝されています。

2. 会員のための活動

(1) 例会・研修会等

昨年度の宿泊例会は白馬山麓猿倉～白馬尻、八方尾根自然探勝路で八方池を1泊2日で実施しました。「森の新聞」83号で詳細はご覧下さい。京都府自然観察指導員等研修会は実施されませんでした。総会では京都市立動物園の田中正之先生に御講演いただきました。私たちが普段接することのない動物たちの生態から動物園の新たな取り組みの話を聞くことが出来ました。

本会が2003年に発行した「京都府自然観察地図」をもとに、そこに掲載された観察地を巡ろうと始まった「地図を持って観察会に行こう」は「南山城当尾」を実施しました。また京都市周辺での取組が多く北部会員に参加いただけないなどの課題がありました。何とか北部での観察会が出来ないかと模索しつつ不十分ではありますが「上世屋の里山」での観察会が実施できたことは喜ばしいとともに今後のあり方への課題を投げかけられました。

またコロナ禍で未実施だった暑気払い、望年会を開くことが出来普段なかなか参加いただけない会員にもきていただけて親睦と交流を深めました。

(2) 「森の新聞」発行（年4回発行）

81号から84号（通巻190号～193号）を発行。発行部数190部（2024年1月号）会員全員その他、NACS-J、大阪自然環境保全協会、大阪自然史博物館等の自然関係団体、国立国会図書館、京都府立図書館、歴彩館、京都府、京都市民活動総合センター等（22団体）に送付しています。さらに各地の自然観察指導員連絡会（15団体）には機関誌交換のために送付する他、協力、理解を広げるため、個人・団体等に配布しています。

81号より全紙面カラー刷りとなり、植物・きのこ・鳥・昆虫などが美しく紙面に飾られ好評を得ています。それにともない表紙絵も迫力のある見事なものとなって魅力アップしました。表紙は川勝氏による花背の地域を中心とした文化や行事が細やかに描かれ、それにまつわるお話しも本文に掲載されています。会員の多くの方の執筆や、編集者の努力によって高い評価を得ています。

(3) 組織について

毎年、年度替わりに諸事情により退会する会員が生じます。他府県開催のNACS-Jの指導員養成講習会で、資格取得者にnoi-Kyotoへの加入を積極的に呼びかけることで加入をお願いし、会員数の減を補ってきました。昨年度は各地での講習会受講者に呼びかけ、4名の方の入会がありました。転任、高齢化や介護等の諸事情により会活動の継続が難しく退会される方も多く2023年度は減少することになり90名を割ることになりました。

念願であった北部での例会も具体化しつつありましたが、ようやくその端緒とも言える「上世屋の里山」観察会が本会の会員と地域で活動されているNACS-J会員との合同で実施することが出来ました。今後の北部での例会や観察会の足がかりになるのではと考えています。

◆会員のための活動				
月日	事業	場所	参加者数	主催
3月31日(金)	地図を持って観察会に行こう⑦	南山城当尾	7	
3月25日(土)	スマホで動画講座	ひとまち交流会館	2	市民活動センター
3月29日(水)	KyotoHappyNpo出演録音	京都三条 FM	7	FM 三条
5月 6日(土)	北部との交流観察会	上世屋の里山	15+5	
7月29～30日 (土・日)	宿泊例会 白馬山麓・八方尾根	P.まいふえろう	20	
8月19日(土)	暑気払い	魏飯餃子	15	
12月12日(火)	noi-kyoto案内チラシ作成検討会		4	
12月16日(土)	望年会	原価ビストロチーズプラス	23	
			98	

3. 自然環境保全の活動と夏原グラント助成金

(1) 花背の自然を守るために特定外来生物オオハンゴンソウの駆除活動を進める

特定外来生物オオハンゴンソウノ駆除を初めて3年を経過しました。昨年は平和堂財団の夏原グラントからの3年目の助成金を活用して駆除活動に必要な道具や機材を購入し、広島の駆除活動を進める団体からご教示いただいた塊根破砕機も自家製作をして稼働を始めました。また二回に渡る多くのボランティア大作戦も実施しました。

4月より古原氏宅のモデル区A(皆抜根地区)で抜根・調査活動を開始しました。2年間抜根の結果、出芽するオオハンゴンソウノ株数はかなり減少し塊根も小さくなり簡単に抜けるようになってきました。5月に花脊の自治会や京都府環境保全課、京都市環境政策課、きょうと生物多様性センター中嶋先生、本会会員などで2022年度の取組報告と2023年度の取組みの打ち合わせの会を実施しました。4月から12月までに定期的にオオハンゴンソウの抜根・刈り取りを行いました。

特に7月と10月の2回はボランティアに呼びかけて大きな駆除活動を行いました。7月の取組みでは昨年に続いて参加される方や、新たに呼びかけに応じてくださる人などで輪の広がりを感じました。また花脊自治会など地元や友の会会員などの参加もありました。11月の活動ではファミリーでの参加などの市民・研究者などが公共交通機関・自家用車を使って参加いただくなどの広がりが見えました。これらの取組には京都府・京都市・きょうと生物多様性センター・京都新聞、朝日新聞、毎日新聞、KBS京都の後援を受けることができました。

京都府環境保全課にはオオハンゴンソウ駆除活動をポスター発表したり、幾つかの生物多様性の報告の中で花脊の活動を取り上げていただきました。新しく設立されたきょうと生物多様性センター主催の「きょうといきもの☆フェス」が植物園で開催され、その中でもポスター展示などを行いました。

◆花脊の美しい自然を守るための特定外来生物オオハングソウの駆除活動			
月日	事業名	場所	参加
4月4日(火)	オオハングソウモデル区出芽確認及び 植生調査・抜根	花脊原地古原氏宅休耕田	14
5月11日(木)	オオハングソウ関係者打ち合わせ	花脊自治センター	24(花脊自治会2京都府1京都市2中嶋・本会18)
同日	オオハングソウモデル区調査・抜根	花脊原地古原氏宅休耕田	19
6月6日(火)	オオハングソウモデル区調査・抜根	花脊原地古原氏宅休耕田	13
7月4日(火)	オオハングソウモデル区調査・抜根 ボランティア大作戦下見	花脊原地古原氏宅休耕田 花脊市民農園横休耕田 広河原早稲谷	14
7月16日(日)	オオハングソウ駆除大作戦・広河原早 稲谷の自然観察	花脊一体	21+48(本会以外)
8月1日(火)	オオハングソウモデル区大堰川両岸・ 刈り取り・抜根・調査	花脊原地古原氏宅休耕田	9
9月7日(木)	オオハングソウモデル区抜根効果確 認、市民農園横刈り取り・抜根	花脊原地古原氏宅休耕田 花脊市民農園横休耕田	11
10月3日(火)	オオハングソウモデル区調査・抜根破 砕機での掘り起こしと大作戦下見	花脊原地古原氏宅休耕田 花脊市民農園横休耕田	9
10月15日(日)	オオハングソウボランティア参加 刈り 取り・抜根・塊根破砕機による試掘作業	花脊原地古原氏宅休耕田 花脊市民農園横休耕田	16+(本会以外26)
11月7日(火)	オオハングソウモデル区調査・抜根、 市民農園横の塊根回収	花脊原地古原氏宅休耕田 花脊市民農園横休耕田	11
12月5日(火)	オオハングソウ抜根最終確認と破砕 機使用抜根開始	花脊原地古原氏宅休耕田	8

◆夏原グラント助成金関連の活動			
月日	事業	場所	参加者数
4月16日(日)	夏原グラント助成金贈呈式 ・事例発表	草津エストピアホテル	1
8月22日(月)	夏原グラント助成金テップアップ ステップアップ講座	大津淡海プラザ	2
2月3日(土)	夏原グラントステップアップ1年目 助成金申請応募書類提出	しがNPOセンター事務局	1

第2号議案 2023年度決算報告・2023年度会計監査報告

2023年度決算報告・2023年度会計監査報告

特定非営利活動法人 NPO 自然観察指導員京都連絡会

2023年度 決算

2023年1月1日～2023年12月31日

2023年1月1日 - 2023年12月31日

(特定非営利に係る活動)					
科目		2023年予算額	2023年決算額	備考	
I 事業活動					
(1) 収入					
ア	入会金		¥2,500	¥1,000	2名
イ	会費		¥282,000	¥243,000	81名
ウ	事業費	小計	¥1,004,000	¥1,384,132	
(ア)	自然観察会A(公開観察会)		¥0	¥0	
(イ)	自然観察会B(他団体主催事業)		¥400,000	¥777,332	講師派遣講師料
(ウ)	自然観察会C(共催事業)		¥500,000	¥500,000	夏原グラント助成金
(エ)	自然観察会D(「友の会」)		¥104,000	¥108,800	年間33名+延べ102名
(オ)	研修会等		¥0	¥0	
(カ)	その他		¥0	¥0	
エ	その他	小計	¥3,163,503	¥3,610,508	
(ア)	前年度繰越金		¥3,163,503	¥3,163,503	
(イ)	寄付		¥0	¥415,510	
(ウ)	その他		¥0	¥31,495	返還保険料、環境賞副賞、利息他
事業活動収入合計		合計	¥4,452,003	¥5,238,640	
(2) 支出					
ア	事業費	小計	¥1,301,500	¥1,498,196	
(ア)	自然観察会A(公開観察会)		¥0	¥0	
(イ)	自然観察会B(他団体主催事業)		¥160,000	¥240,423	中世木モニタリング等交通費
(ウ)	自然観察会C(共催事業)		¥634,500	¥859,491	オオハングンソウ駆除活動
(エ)	自然観察会D(「友の会」)		¥400,000	¥286,297	スタッフ交通費他
(オ)	研修会等		¥100,000	¥101,985	日帰り・宿泊例会交通費補助
(カ)	その他		¥7,000	¥0	
イ	管理費	小計	¥140,000	¥105,229	
(ア)	会議費		¥40,000	¥19,230	運営委員会・理事会会場費他
(イ)	事務用品費		¥10,000	¥0	
(ウ)	消耗品費		¥40,000	¥28,241	コピー代他
(エ)	通信費		¥35,000	¥31,605	携帯電話
(オ)	送付料		¥15,000	¥17,058	郵送費他
(カ)	公租公課等		¥0	¥0	
(キ)	その他		¥0	¥9,085	PCウイルス対策、証明交付手数料他
ウ	活動費	小計	¥540,000	¥406,081	
(ア)	印刷費		¥270,000	¥198,137	森の新聞印刷代
(イ)	送付料		¥80,000	¥47,906	森の新聞送付料
(ウ)	旅費		¥130,000	¥152,888	運営委員会交通費他
(エ)	保険料		¥25,000	¥3,650	
(オ)	備品等購入費		¥50,000	¥0	
(カ)	雑費		¥5,000	¥3,510	キャンセル料他
エ	予備費		¥50,000	¥0	
事業活動支出合計		合計	¥2,031,500	¥2,009,516	
本年度事業活動差額		差額	¥2,420,503	¥3,229,124	
事業活動収入合計			¥5,238,640		
" 支出合計			¥2,009,516		
			次年度繰越額	¥3,229,124	

以上の通り報告いたします。

2024年2月17日

会計担当理事 署名 清水 正

会計担当理事 署名 平尾 繁和

会計担当理事 署名 久間 孝子

2023年度会計監査報告

この会計が適正に処理され、記録されていることを認めます

2024年2月17日

監事 署名 中西 富子

監事 署名 臼井 法子

1. 対外活動（自然保護思想の普及活動）

（1）友の会、京都府委託公開自然観察会、講師派遣等

① 友の会（年間12回）

友の会の観察における指導員一人一人スキルアップを図るため、下見をより重視し、充実したものにしていきます。また下見で練り上げた内容で参加者によりわかりやすく、よりやさしくインストラクション出来るようにしていきます。

noi-Kyot 友の会観察会観察場所一覧(2016～2024)							
2024.2.10							
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	宝ヶ池	京都御苑	鴨川 出町柳から 出雲路橋	膳所城址公園	木幡池の冬鳥	宝ヶ池	木幡池の冬鳥
1	八幡背割り堤	北嵯峨	京都御苑	伏見北堀公園	ウツナベ古墳群と 平城宮址	木幡池の冬鳥	瀬田公園
2	河辺いきものの森	八幡背割り堤	井手玉川	春日山公園	奥貴船	奥貴船	笠置
3	洛西～長岡京	川久保溪谷	神峰山自然の森	池谷地蔵から銀閣寺	池谷地蔵尊から銀閣寺	池谷地蔵尊から銀閣寺	大原の里
4	武庫川溪谷	春日山原始林	瀬田公園	竜王町鏡山	竜王町鏡山	嵯峨 観空寺谷	武庫川溪谷
5	大阪市立大学理学部 付属植物園	崇福寺と百穴古墳群	枚方市穂谷	太陽ヶ丘	嵯峨 観空寺谷	竜王町鏡山山麓	枚方市 穂谷
6	京都御苑 (夜)	京都御苑 (夜)	打見山・蓬萊山	高雄から清滝	水無瀬川山吹溪谷	水無瀬川山吹溪谷	特別例会 セミの羽化
7	比叡山無道寺谷	奥貴船	マキノ高原・調子ヶ滝	笹間が岳	比叡山 平子谷	比叡山 平子谷	鞍馬から貴船
8	春日山原始林(台風で中止)	恭仁京	宇治川・大吉山	岩船寺～浄瑠璃寺	天ヶ瀬森林公園	甘南備山	河辺いきものの森
9	花脊山村都市交流の森(記念)	皇子が丘公園	西谷の森公園	比良山麓(会員限定)	竜王町 鏡山鳴谷ルート	湖西伊香立の里	瓢箪崩山
10	南山城村(月ヶ瀬口)	保津峡から馬堀	坂本から西教寺	箕ノ裏が岳	稲荷山 御膳谷ルート	けいはんな記念公園	恭仁京
11	宇治大吉山	大原	山科疏水	小関越え	城陽鴻ノ巣山	京都御苑	皇子が丘公園
12				7月セミの羽化(特別例会)コロナ禍により中止	1月～10月までコロナ禍により中止	2月コロナ禍により中止、7月京都御苑でセミの羽化観察特別例会再開	
備考	養成講座研修会(京都平安ホテル・京都御苑)・地衣類		養成講座研修会(深沢池・歴史館)・高層湿原と水生植物	養成講座研修会(けいはんな記念公園)・都市公園の生物多様性			

② 京都府委託公開観察会・自然環境保全京都府ネットワーク

京都府委託公開観察会は4月以降の企画となります。自然環境保全京都府ネットワークでは2024年度総会は2月24日(土)に実施されました。

③ 他団体の行う自然観察会の企画・立案及び講師派遣（下記記載は現在申込みのあったもののみです）

◆田んぼの学校はコロナ対策を行った上での対面(リアル)方式で実施します。

田植え編 下見 5月10日(金) 本番 5月19日(日) 午後

草取り編 下見 6月28日(金) 本番 7月 7日(日) 午後

収穫編 下見 9月13日(金) 本番 9月22日(日) 午後

※ 18家族60名程度、 2名(+1名)の指導員が4～5家族15名を担当 *雨天の場合は室内

田植え編・収穫編は70分、草取り編は90分(内20分は室内での体験型授業)

◆京都府教職員互助組合退職互助部 …今年度はありません

◆京都高齢者大学校 古都をめぐる自然観察会～京都にも自然がいっぱい～

講師 3 (+4) 人を派遣 下見は本番 1 週間前の火曜日

- ① 4 月 16 日 (火) 京大上賀茂試験地
- ② 5 月 21 日 (火) 皇子が丘公園
- ③ 6 月 18 日 (火) 大原の里
- ④ 10 月 15 日 (火) 宝ヶ池公園
- ⑤ 11 月 19 日 (火) 御陵から山科疏水
- ⑥ 2 月 18 日 (火) 京都御苑

◆西山ファミリー環境探険隊 長岡京市環境政策室より

4 月 27 日 (土) 西代里山公園から西山キャンプ場 予備日 28 日

◆中世木モニタリング 毎月第 3 金曜 (原則) 現地集合 参加者の状況で配車場所設定

3 月 22 日 (金) 4 月 19 日 (金) 5 月 17 日 (金) 6 月 21 日 (金) 7 月 19 日 (金)

◆花脊モニタリング 毎月第 2 木曜 集合：府立植物園正門モニュメント前 9 時集合

3 月 14 日 (木) 4 月 11 日 (木) 5 月 9 日 (木) 6 月 13 日 (木) 7 月 11 日 (木) …

◎花脊地域 特定外来種オオハングンソウの駆除活動

- * 今年度の目標スローガン「刈り取りから抜根へ」
- * 地域配布だよりの発行 (年 2 回～3 回) 予定
- * 塊根破砕機の実用化に向けての課題…破砕機を使える人を確保
- * 駆除後のオオハングンソウの処理問題
- * 今後の継続的取組に向け行政 (京都府、京都市)、地域と協働を考える (資金を含む)
- * 夏原グラントステップアップ助成 1 年目の獲得
- * 年間計画作成 (関係諸団体との打ち合わせ、ボランティア作業日等)
- * 大悲山口寺谷川沿いオオハングンソウの侵入についての対処策を行う
- * 京北町周山橋旧京北第一小学校対岸に繁茂地の状況確認と協力依頼
- * 園部町仁江のオオハングンソウ伐根処理

◆スケジュールと取り組み内容

事業スケジュール (月別)	事業実施期間 2024年4月1日～2025年3月31日
3月	・花背、広河原、別所への2023年度活動の結果と報告、今年の予定チラシ配布 ・オオハングソウモデル区の抜根作業開始
4月	・オオハングソウ駆除の啓発呼びかけ、既設看板の状況確認と補修 ・地域団体及び花背住民への駆除活動協力依頼 ・定例的駆除活動（抜根・調査・刈り取り）の開始（原則は毎月第一火曜） ・オオハングソウ発芽状況把握調査 ・ボランティア呼びかけチラシ作成・配布 ・自然を学ぶ講座の準備活動開始（4月～12月） ・オオハングソウ関係者打ち合わせ会議
5月	（京都府・市、地元自治会、noi-kyoto、地域住民等） ・オオハングソウ刈り取り・抜き取り作業（ボランティア大作戦実施地域の選定と実施）
6月	・花背の自然を学ぶ自然観察会（場所未定） ・自然を学ぶ講座の準備活動本格実施（4月～12月） （テキストづくり、会場選定、講師確保、募集チラシ作成）
7月～8月	・花背の自然を学ぶ学習会（市民向け） ・オオハングソウ蓄形成期と開花期の駆除活動 ・種子形成防止の駆除活動と刈り取り地域の再刈り取り実施 ・第二次ボランティアによるオオハングソウ駆除大作戦 ・花背の自然を学ぶ自然観察会（場所未定）
9月～12月（積雪期まで）	・活動実施地域の植生調査 ・オオハングソウ種子形成期の駆除活動
団体のステップアップのための取り組みも含めて	※オオハングソウ駆除活動（抜根・調査・刈り取り）は毎月行う ※駆除活動のまとめ 活動報告は随時行う

(2) ホームページの運営

ホームページに不具合等が見つければ、その都度修正します。本会の事務的な書類（交通費請求書、下見リスト等）、活動参加の予定表の利活用を進めるほか、インフィニクラウドの整理と写真フォルダの効率的利活用を進めます。（フォルダーを作成）

○会員へのお願い：写真はサイズを小さくしてキャンペーンと日時（例：2022年1月1日の場合「友の会 220101」）を小文字で入れてください。いずれも会員のページから入れます。（会員のページへの入るためのパスワードが必要です。）

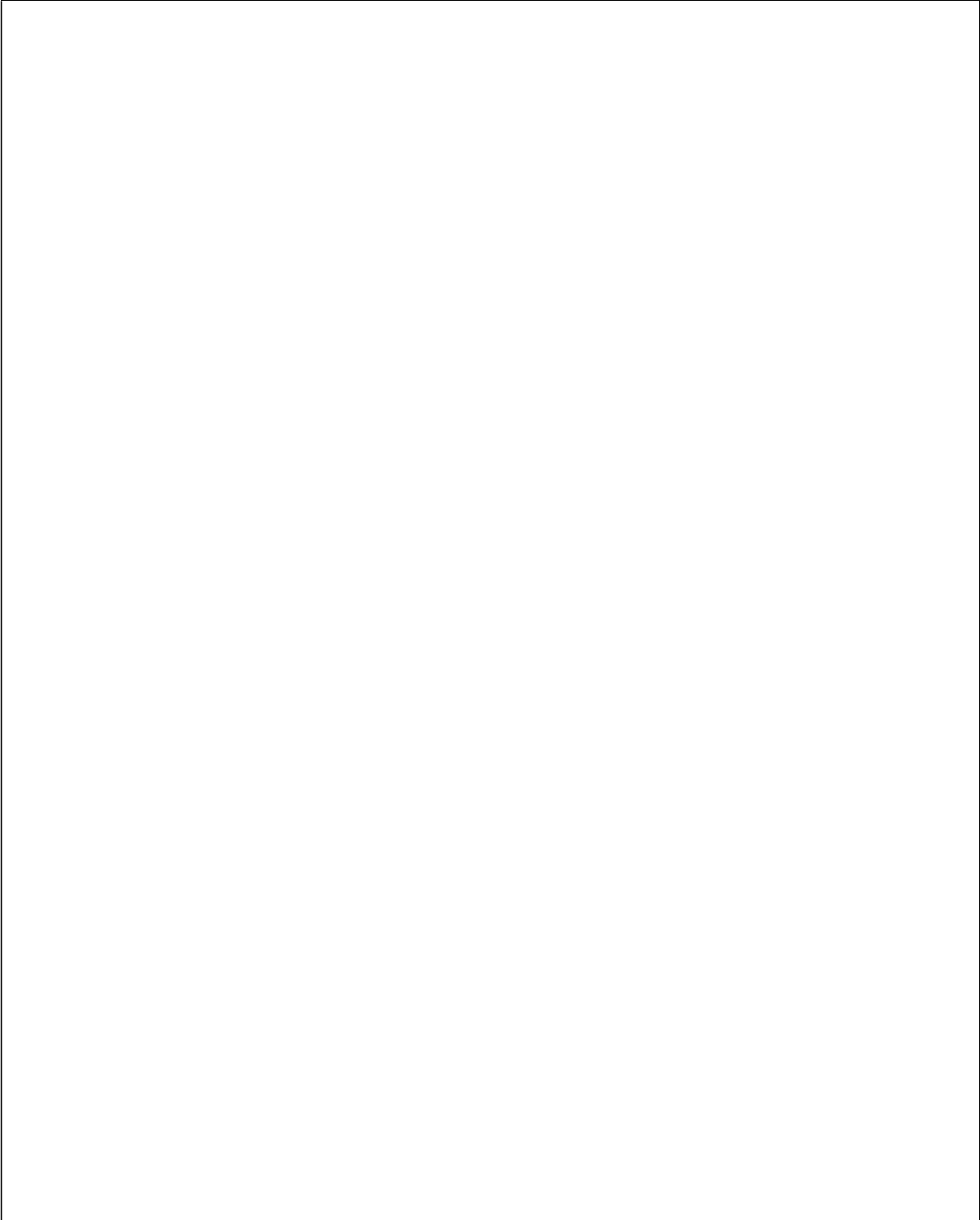
2. 会員のための活動（研修と親睦）…会員自身が楽しめて、自らの力量を高められる活動として重視します。

(1) 例会（日帰り・宿泊）

- ①企画委員会を発送日以外の運営委員会開始前に開催、「地図をもって観察会に行こう」を計画的に開催できるように立案していきます
- ②端緒についた北部での観察会を前に進めるように検討
- ③夏の宿泊例会 企画委員会で検討中

(2) 月例会兼「友の会」の下見（詳細は「森の新聞」）…スキルアップが効率的に出来るよう運営委員会で検討

- (3) 機関誌「森の新聞」の編集発行（年4回：1月、4月、7月、10月）と
- (4) メーリングリストの活発化と noi-kyotoLINE グループと教えて G ラインの活用
- (5) 研修（自然関係の講演会などの案内活動、救急救命講習、樹木同定講習会）
- (6) その他(会員同士で自由に楽しみながら観察地の新規開拓をめざす活動など希望観察地あればお知らせください。急な場合MLでの連絡となります)
- (7) 組織の役割分担整備と将来ビジョンとして5カ年中期計画(夏原ステップアップ事業に記載)を実行。当面の戦略として「自然を学ぶ講座」を実施して会員を増やします。



■第5号議案

2024年度理事・監事の人事（任期は2023年4月1日～2025年3月31日）

※代表理事 清水 正（運営委員兼務）＊以下「運営」と略す

副代表理事 白石恵美子（運営）

理事 出口由美子（運営）久間孝子（運営）眞田幹雄（運営）福井千津（運営）

宮城光夫（運営）伴 浩治（運営）上月章（運営） 齋藤紀子（運営）

平尾繁和（運営） 【以上理事11名】

監事 中西富二子、臼井知子【2名】 【辞任】弓削俊彬（運営）

顧問 吉田 真、西川忠樹、坂東忠司【3名】

2024年度運営委員の人事（任期2024年4月1日～2025年3月31日）

海老原緑（再）、小牧直人（再）、中川大一（再）、羽田寿（再）、梅田眞（再）

古結博邦（再）、榎三津子（再）細川幾由（再）正木文枝（再）、稲田真弓（再）、松井隆（再）、

臼井知子（再）中西富二子（再）、（以上13名） 【退任】高本憲二

※この他、理事兼任の運営委員が11名おり、運営委員は合計24名となります

第1号議案から第5号議案まで全て満場一致で可決承認されました。

以上議事録に相違ありません。

2024年3月4日

総会議事録署名人（総会議長他2名）

伴 浩治 印

眞田 幹雄 印

上月 章 印